XBOX登場!

情報家電の祭典 完全レポート

2001 International CES®

1月5日から9日まで、米ラスベガスで開催された情報家電の祭典「2001 International CES」。今年はマイクロソフトのビル・ゲイツ氏が基調講演で披露した次世代ゲーム機「XBOX」でわく一方、インターネットに関連した製品が続々登場。なかでも注目の製品を一挙レポートする。

編集部
Photo:Nabeshima Akiko
Christian Radler（XBOX）

XBOX専用ゲーム「Malice」のデモンストレーション
（c）Argonaut Games plc

ついに披露されたXBOX

ソニー・コンピュータエンタテインメントのPlayStation2、任天堂のGAMECUBEに対抗した次世代ゲーム機「XBOX」の本体デザインが、現地時間の1月6日に初披露された。横置き型の黒い本体に、上面中央やコントローラー中心部に配色された緑色が目を引く。一見四角い箱だが、上面が「X」にかたどられている。前面にイジェクトボタンと4つのゲームポート（USB準拠だが形状は独自仕様）を配置してコントローラーを接続する。ビデオ出力部はHDTVに対応し、背面にイーサネットポートも用意されるなど拡張性も考慮した作りだ。基調講演では、ゲームタイトル2製品のデモンストレーションも行われ、リアルでスムーズな動きをするキャラクターに場内は盛況だった。発表は2001年後半を予定している。

米独自のサテライトラジオ

日本ではあまりなじみのないサテライトラジオ局、XM Satellite RadioとSIRIUS Satellite Radioの出展も今回の特徴だ。ともにカーオーディオに代表されるコンシューマー向け製品を紹介。サテライトラジオは通信衛星を使う

[XBOXのおもなスペック]

- DirectX ベースAPI
- Intel PentiumIII 733MHzプロセッサー
- マイクロソフトとnVidia共同開発の専用250MHz X-Chip
- 64MB RAM
- カスタム3Dオーディオプロセッサー
- 8GBハードディスク
- 2～5倍速DVDドライブ
- 10/100Mbps イーサネット

詳細は Jump www.xbox.co.jp

HDTV（エイチディーティーヴィー／High Definition Television）：高品位テレビ。日本のHDTVは、現在NHKがBSで放送しているアナログ方式のもので、走査線数が1125本。一方アメリカでは、DTV（デジタルテレビ）の1方式の名称で、デジタル方式を採用する。現在一番解像度の高い方式は、1080pという走査線が1080本でプログレッシブ方式のもの。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2001 Impress R&D

ため情報を広範囲に配信できるうえ、ニュースや音楽といった50～100ものチャンネルプログラムを用意し、地上波を大きく引き離す。サービス料金も月額わずか10ドル程度だ。ハードウェアは、XMはパイオニアやアルパイン❶❷、ソニー❸などの6社が対応を表明し、SIRIUSもケンウッドやパナソニック❹、クラリオンといった主要なオーディオメーカーが対応したことで、普及を促す環境がそろったと言える。

常時接続を生かすインターネットラジオ

パソコンを使わずに直接ブロードバンドに接続してストリーミング放送を受信する製品も登場。3Comの「Kerbango」❺はポータブルタイプのインターネットラジオ端末で、ダイアルで放送局を合わせるなどアナログのラジオ製品と似た外観が特徴。Panjaの「Broadband music player BMP-100」❻はイーサネットポート経由でMP3.comにアクセスでき、外付けのディスプレイと付属のリモコンで、常時50万以上ある曲の中から選曲できる。常時接続の環境が整備された米国では、特にインターネットを意識しないで使えるインターネットラジオのような製品ニーズは高い。これを見ると、インフラがそろいつつある日本市場での登場もそう遠くはないと予想される。

Bluetooth製品の本格的実用化に向けて

LANカードとアクセスポイントのセットが並ぶBluetoothパビリオンで、Bluetoothを利用したラジコンカー⓭が登場した。企業ブースに出展されたエリクソンの「Bluetooth Watch」❼も興味深い。この時計と携帯電話❽を使い、Bluetoothでスケジュールデータをやりとりできるコンセプトモデルだ。また「Bluetooth Tablet」❾は、Bluetoothのワイヤレス技術を利用したタブレットPC。SAMSUNGも、同様のタブレットPC❿を展示したほか、メタリックデザインの携帯電話のヘッドセット⓫が注目を集めた。

さらに、ソニーがメモリースティック型Bluetoothアダプターの「infostick」⓬を正式発表。実際にデモンストレーションを行っていた。一方で、東芝が日本で今春発売予定のSDカード型Bluetoothアダプターを出展した。これらBluetoothアダプターの登場が家庭や小規模オフィスのワイヤレス化を促進するのは間違いないだろう。

Bluetooth（ブルートゥース）：エリクソン、IBM、インテル、ノキア、東芝の5社が中心となって提唱する携帯端末向けの無線通信技術。免許なしで使える2.4GHzの周波数帯を用い、通信速度は現在1Mbpsで将来的には10Mbpsを目指す。最大10mの距離にある機器同士を特別な操作なしに自動接続する。IEEE802.15で標準化が進んでいる。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2001 Impress R&D

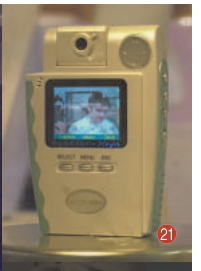
飽和状態ながら、まだまだ賑わいを見せるMP3

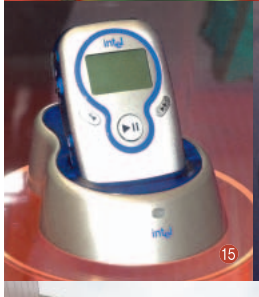
すでに飽和した感があるMP3関連製品だが、各社が機能の増加や趣向を凝らした「次なる手」で新製品を投入している。容量が40MBあるにもかかわらず価格はたった10ドルというPocketZipを採用するアイオメガは、初のMP3プレイヤー「HIP ZIP」⑭を出展。また、PocketZip型の音楽タイトルも1月末より米市場で発売される。安価なメモリーがどこまで市場を揺るがすかが見ものだ。また、コンシューマー向け製品群を発表したインテルも、「Intel Concert Audio Player」⑮を出展。会場外には巨大なバルーンも登場した⑯。ソニーは、春から夏にかけて発売予定のMP3に対応したポータブルCDプレイヤー⑰やCDラジカセ⑱を出展した（日本発売は未定）。日本市場でMP3対応カーオーディオをいち早く発売したケンウッドは、今夏発売予定の「Digital Audio Server」⑲を参考出展。この製品はUSBポートを搭載し、モデム経由でブロードバンドに接続してダウンロードした曲をハードディスクに保存する。SAMSUNGのMP3プレイヤー付き携帯電話「UPROAR」⑳は64MBメモリー内蔵型。昨年に日本で発売されたソニー製品とは異なり、外部メモリーを持たないため、手のひらサイズを実現している。香港のGLOBAL LINK DIGITALの「GLP-1300C」㉑は携帯電話のシリアルポートに接続できるカメラだが、MP3の再生とボイスレコーダー機能にスマートメディアスロットを備えた。さらに、台湾のCMCが出展した「Gamera」㉒は動画ビューアーやアドレス帳を搭載。オプションのTVチューナーモジュールでテレビも見られる。多機能、高スペック機も登場と、MP3を筆頭にする音楽フォーマット技術の対応製品にはとどまるところを知らない勢いを感じた。

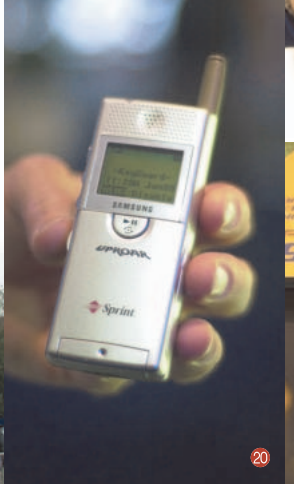
次世代携帯電話に近づくPDA関連機器

ARKONの「G24 Internet Communicator」㉓は、Visor用の電話アダプターとアクセスポイントがセットになったもの。通話はもちろん、インターネットに接続したアクセスポイント経由でVisorが利用できる。セットで200ドルと低価格も魅力だ。カラフルな用途別の小型PDAを展開するモトローラの新製品「ACCOMPLI 009」㉔は256色カラー液晶を搭載し、クレードル、ヘッドセットなどの付属品込みで600ドル。今春に欧州、6月に米国で発売を予定している。GSM携帯電話内蔵のため、日本市場での発売予定はない。

PalmやVisorに代表されるPDA市場は、周辺機器の取り組みもさかんで、SDカード型カメラなどのI/O機器も数多く展示されていた。基調講演を行ったPalmのヤンコフスキーCEOが言う「次世代携帯電話を取り込んだ統合ツール」への第一歩がここに垣間見られた。







MP3（エム・ピー・スリー／MPEG-1 audio layer3）：音声情報圧縮の国際規格の1つ。ISO（International Standardization Organization）のワーキンググループであるMPEGが制定している。1/10から1/12の圧縮率でありながら、CDクオリティーの音質を保てる。

インターネットマガジン／株式会社インプレス JPCR
©1994-2000 impress R&D

インターネットアプライアンスの製品群

2000年秋のCOMDEXでも話題になったタブレットPCだが、CESでも同様だ。インテルの「Web Tablet」㉕は今年半ばの発売を目途とし、同社のワイヤレスシリーズ(独自仕様)の1つに位置付けられている。Qubitの「Orbit Wireless Web Tablet」㉖はIEEE802.11bに準拠。ほかCRESTRONの「Crestron Smart Touch ST-1550C」㉗や3Comの「Audrey」㉘なども、部屋のいたるところで使える便利さをデモで強くアピールした。

また、ソニーがデスクトップ型「eVilla」㉙を発表。16MBフラッシュメモリーを内蔵し、メモリースティックスロットを装備。本体は約500ドルで今春にも米国で発売されるとともに、インターネットへの接続サービスも安価で提供される予定。ユーザーフレンドリーな製品に仕上がっている。

多様化するホームステーション

セットトップボックス(STB)も、もはや単なるインターネットとテレビの融合ではない。ノキアの「Media Terminal」㉚はMP3プレイヤーやネットワークゲーム機としても使えるほか、HDTV対応で内蔵の20GBハードディスクに録画もできる。ソニーが取り組むCATV用STB㉛はクライアントサーバー形態でCATV局との双方向通信を実現し、高速で高画質のビデオオンデマンドを提供する。また、Vialtaの「ViDVD」㉜はDVD/CDプレイヤー、MP3プレイヤー、インターネット接続、カラオケ、そしてオプションでインターネット電話にも対応する(今夏発売予定)。

キッチンまわりでも、より実用的な製品が登場した。Cmi Worldwideの「iceBOX」㉝は、システムキッチン据付型STBで、DVDプレイヤーも兼ね備える。サン・マイクロシステムズのJava対応オーブン「Turbochef」㉞はインターネットからレシピを拾うだけでなく、プリンターから紙への印刷もできる。今回のCESでは全体的に白物家電の情報化よりもAV機器関連の展示が目立っていた。

今回登場した新製品はまさに、基調講演中に何度となく登場した「Easy to Use」「Connected Everywhere」を印象付ける製品の数々だ。日本とは異なる環境下で、かならずしも小型が受けるわけではない米国社会。しかし、メモリースティックやSDなどへの高い注目度からも「便利なもの」を模索する家電業界の方向性が感じられた。

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

IEEE802.11b(アイ・トリプル・イー802.11b/Institute of Electrical and Electronics Engineers):IEEE(米国電子電気学会)が定めた周波数帯2.4GHz、伝送速度11Mbpsの無線LAN規格。この規格に準拠した製品なら、メーカーや機種の違いを問わず通信できることになっている。

インターネットマガジン/株式会社インプレスR&D
©1994-2001 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.